ISSN 2185-8578

JICA 横浜　海外移住資料館

館報

2016 年度

ジャイカ
JICA

はじめに

JICA 海外移住資料館が 2002 年 10 月に開館し、14 年が経過しました。横浜みなとみらい 21 地区の発展とともに当館への来館者数も増加し、2016 年度の訪問者は過去最多の 52,923 人を記録し、開館以来の累計訪問者は 47 万人を超えました。

これもひとえに資料の収集・展示・保管や調査研究活動、講座や各種の催しにご協力くださる関係者の方々、そして当館の活動を暖かく支えてくださる地域の方々のお蔭であり、厚く御礼申し上げます。

2016 年度は企画展示として、8 月のブラジル・リオ五輪・パラリンピックに因んだ「二つのオリンピック　スポーツがつないだ日系社会」、「鏡像の祖国　アルゼンチンの日系人たち」、「ハワイの日系人のまつり　お正月とボンダンス」をそれぞれ約 2 か月間開催するとともに、これら展示に関連した催しを開催し、研究者や海外移住に関心を持つ方々をはじめ、多くの方々にご来場・ご参加いただきました。

特に「二つのオリンピック　スポーツがつないだ日系社会」では、リオ五輪の聖火ランナーとして実際にサンパウロ市内を走り、その後聖火トーチを当館に寄贈してくださった日系二世の小川彰夫氏が、聖火リレーにまつわるエピソードから、リオ五輪での日系人の活躍、そして日系コミュニティの最新事情について講演し、時宜を得た企画として参加者から好評を得ました。さらに、日系三世ブラジル人デザイナーが関わった五輪マスコット人形の展示にも熱い眼差しが注がれました。

また、移住先の日系社会と移住者を送出した県とのつながりをテーマにした「移住者送出県」シリーズでは、2015 年度の「ルーツは福岡　夢は世界へ～世界で活躍する福岡移民～」が好評ゆえに 6 月初旬まで会期を延長、その後福岡県内 5 カ所とメキシコで開催された「海外福岡県人会世界大会」での巡回展示に発展しました。

2016 年度は国内で一番多い 10 万人を超える移住者を出している広島県の協力を得て、企画展示「広島から世界へ　移住の歴史と日系人の暮らし」を

開催しました。

　次世代を担う青少年を対象にした教育プログラムでは、移住者や日系社会を身近に感じてもらえるよう、地域の博物館と連携した春休みスタンプラリーや「移民カルタ」遊びなど子供向けの親しみやすい催しを開催しました。

　博物館にも地方創生への貢献が期待される時代です。当館も、地元横浜市や神奈川県、そして全国の移住送出県や団体と連携し、地域の活性化に役立てるよう邁進していく所存です。引き続き当館の活動へご支援・ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

JICA 海外移住資料館　館長　朝熊由美子

目　　次

1.　展示イベント等 1

2.　情報システム 12

3.　資料等情報整備 13

4.　教育普及活動 14

5.　広報活動 22

6.　運営委員会及び学術委員会 24

7.　アンケート調査 27

8.　各種実績等 28

1. 展示イベント等

<u>企画展示１</u>　「二つのオリンピック
－スポーツがつないだ日系社会－」

開催期間：7 月 16 日（土）～9 月 25 日（日）
開催期間中入館者数：10,950 名

概　　要：南米大陸で初めて開催されたリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック。アメリカ大陸各国の日系人は数年おきに集い、通称「日系オリンピック」と呼ばれる日系国際スポーツ親善大会を開催している。
　日本人移民は各国で、運動会をはじめ野球や相撲、陸上競技などを通じて次世代を育成し、日系人同士のつながりを大切にしてきた。日系社会におけるスポーツ活動と、五輪やプロの世界で活躍している日系アスリートについて、またオリンピックを舞台に様々な分野で活躍する日系人の姿を紹介した。

付帯イベント①：聖火トーチお披露目式
実施日時：8 月 12 日（金）　14:00～15:00
会　　場：企画展示室
概　　要：リオ五輪の聖火ランナーの一人としてサンパウロ市内を走った小川彰夫氏より、聖火トーチが寄贈された。聖火トーチが到着したことを記念し、お披露目の除幕式を開催した。駐日ブラジル大使館ベルジガォン経済協力担当部長、JICA 入柿理事をはじめ来賓 4 名による除幕を行った。

付帯イベント②：聖火トーチ撮影会

実施日時：8 月 12 日（金）、13 日（土）、20 日（土）、27 日（土）、28 日（日）、30 日（火）
会　　場：企画展示室入口
概　　要：小川彰夫氏より寄贈頂いたリオ五輪の聖火トーチと一緒に撮影会を開催した。

付帯イベント③：小川彰夫氏　特別講演会

実施日時：9 月 25 日（日）　14:00～16:00
会　　場：JICA 横浜 1 階　会議室 1
受講者数：46 名
概　　要：リオ五輪聖火ランナーの一人としてサンパウロ市内を走った、聖火トーチ寄贈者の小川彰夫氏が来日し、聖火リレーにまつわるエピソード、リオ五輪での日系人の活躍、そして日系コミュニティの最新事情について講演した。

<u>企画展示 2</u>　「田島さゆり写真展　鏡像の祖国
ーアルゼンチンの日系人たち」

開催期間：10 月 15 日（土）～12 月 11 日（日）
開催期間中入館者数：9,895 名
概　　要：地球上で日本から最も離れた国であるアルゼンチン。人口約 4,000 万人のうち、約 23,000 人の日系人が居住していることは両国の重要な関係の一つである。青年海外協力隊員としてブルガリアに派遣された経験があり、日系社会シニアボランティアとして派遣された夫の随伴家族としてアルゼンチンへ渡った田島さゆり氏が、現地で日本人移住者の取材を重ね、撮りためた写真を展示した。
　アルゼンチンに移住し、苦難を乗り越えてもなお笑顔を見せる日本人移住者たちの写真を通して、アルゼンチン日系社会の「歴史」と「今」を紹介した。

付帯イベント①：オープニングイベント

実施日時：10 月 15 日（土）14:00～15:00
会　　場：企画展示室
参加者数：83 名
概　　要：田島さゆり氏とアルゼンチンの日系二世歌手である大城クラウディア氏によるギャラリートークとミニライブを開催した。ギャラリートークでは、参加者からたくさんの質問があり、また大城氏のライブでは会場が一体となり、大変な盛り上がりとなった。

<u>企画展示 3</u>　「ハワイの日系人のまつり　ーお正月とボンダンスー」

開催期間：12 月 23 日（金・祝）～2 月 12 日（日）
開催期間中入館者数：6,574 名
概　　要：日本人の海外移住はハワイから始まった。今でもハワイの人口のおよそ 20%は日系人だといわれている。ハワイ日系人の多くは、お正月には初詣をし、お餅をついておせち料理を食べて新年を祝う。夏には、毎週末、どこかでボンダンス（盆踊り）が行われ、日系人に限らずさまざまなルーツの人たちが楽しんでいる。日本人移民がもたらした文化は常夏の島ハワイの風土の中で受け継がれ、変容してきた。ハワイの日系人の暮らしの中に今も息づく「日本」の慣習・文化を紹介した。

<u>企画展示 4</u>　「広島から世界へ　ー移住の歴史と日系人の暮らしー」

開催期間：3 月 4 日（土）～5 月 28 日（日）
開催期間中入館者数：3,947 名（2017 年 3 月末日現在）

概　　要：広島県は 100 年以上前から多くの海外移住者を輩出した全国第一

位の移民県である。
　ハワイやアメリカ大陸には 28 の広島県人会が存在し(2016 年 8 月現在)、母県と交流している。
　本展示では 2015 年に広島県立文書館で開催された特別展示「広島から世界へ －移住者の歴史と現在－」をベースに、解説パネルと広島市、広島県他より借用した標本資料により紹介した。

付帯イベント：オープニングセレモニー・イベント
開催日時：3 月 4 日（土）12:30～15:30
概　　要：企画展示オープンを記念して、オープニングセレモニーを開催した。バンクーバー朝日軍元選手を親族に持つジャズシンガーの上西千波氏によるミニコンサートを行った。
式次第　：・主催者挨拶　JICA 横浜海外移住資料館館長　朝熊由美子
・挨拶　広島県地域政策局国際部長　濱本清孝
・特別展示室ご案内
・ミニコンサート：上西千波氏
・広島物産展

<u>巡回展示１</u>

福岡県海外移住資料展　「ルーツは福岡　夢は世界へ　～世界で活躍する福岡移民～」

概　　要：当館で 2016 年 3 月 4 日から 6 月 5 日（会期は 5 月 8 日までの予定だったが、好評につき 6 月 5 日まで延長した）に開催した企画展示「ルーツは福岡　夢は世界へ～世界で活躍する福岡移民～」のパネルが公益財団法人福岡県国際交流センター主催により、以下のとおり展示された。また、3 年に一度開かれる福岡県人会世界大会メキシコ開催にあわせて、メキシコにおいても展示された。

会　場①：九州芸文館エントランスギャラリー（筑後市）
開催期間：9 月 27 日（火）～10 月 2 日（日）

会　場②：福岡県庁１階ロビー（福岡市博多区）
開催期間：10 月 3 日（月）～7 日（金）

会　場③：福岡市総合図書館 1 階ショーケース（福岡市早良区）
開催期間：10 月 12 日（水）～30 日（日）

会　場④：イイヅカコミュニティセンター展示ホール（飯塚市）
開催期間：11 月 26 日（土）～28 日（月）

会　場⑤：コムシティ３階マーメイド広場（北九州市八幡西区）
開催期間：1 月 7 日（土）～27 日（金）

会　場⑥：日墨会館メインホール（メキシコ・メキシコシティ）
開催期間：10 月 15 日（土）～16 日（日）

巡回展示２

移民資料展「ウチナーンチュの世越の肝心(ユークイティヌチムグクル)」

概　　要：世界のウチナーンチュ大会にあわせて沖縄県立博物館・美術館で開催した移民資料展において、JICA 沖縄の協力により、当館で 2014 年 3 月 1 日から 5 月 11 日に開催した特別展示「雄飛－沖縄移民の歴史と世界のウチナーンチュ」の内容を再構成したパネル 30 枚が展示された。

会　　場：沖縄県立博物館・美術館（那覇市）
開催期間：10 月 21 日（金）～12 月 4 日（日）

巡回展示３

「連れもて行こら　紀州から！ー世界にひろがる和歌山移民ー」

概　　要：当館で 2015 年 3 月 8 日から 5 月 10 日に開催した特別展示「連れもて行こら　紀州から！ー世界にひろがる和歌山移民ー」のパネルが､以下の 2 会場において展示された。

会　　場：京都外国語大学（京都市右京区）
開催期間：　6 月 23 日（木）～30 日（木）

会　　場：海外移住と文化の交流センター（神戸市中央区）
開催期間：　9 月 3 日（土）～10 月 16 日（日）

イベント１　　横濱ベイサイドビューポイントラリー

開 催 日：3 月 19 日（土）～4 月 10 日（日）
主　　催：新港賑わい作り委員会
概　　要：近隣の施設 5 か所のスタンプを集めて、抽選で賞品がもらえるスタンプラリーに参加した。

イベント2　　日本学生海外移住連盟※(学移連)OB会資料文献寄贈式

開 催 日：4月27日(木)
概　　要：学移連OB会より当時の活動を伝える文献資料（連盟創立60周年記念事業として収集）の寄贈を受け、贈呈式を開催した。
※日本学生海外移住連盟は昭和 30 年に中南米に憧れ海外雄飛を夢見た全国の大学のサークルで組織され、最盛期には約70大学が加盟していた。その活動は平成9年まで続き、多くのOBが北中南米へ移住し、日系団体のリーダーとして活躍している。

イベント3　　ゴールデンウィークイベント

開 催 日：5月3日(火)～5月5日(木)
概　　要：企画展示「ルーツは福岡　夢は世界へ　～世界で活躍する福岡移民～」に関連した福岡銘菓展、キャラクター「ふくおか官兵衛くん」による来館者へのグリーティングを開催した。

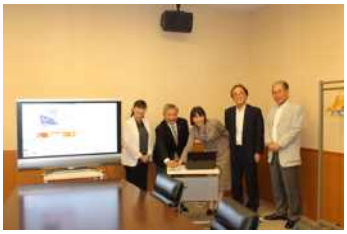
イベント4　　6月18日は海外移住の日

開催日時：6月17日(金)～19日(日)
概　　要：6月18日の「海外移住の日」にちなみ、3日間にわたって以下のイベントを開催した。
●カルタで遊んでタイムスリップ！ 10:00-16:00
　日本ーブラジル移民カルタを実施し、参加者には国旗缶バッジをプレゼントした。
●コーヒー飲みくらべ！ 11:00-16:00
　当館入口にてブラジル日系農家のコーヒーとコロンビアコーヒーの試飲会を開催した。
●移住映像上映会　※6月18日(土)のみ
　①13:00～希望の国ブラジル【南部編】
　②14:00～希望の国ブラジル【北部編】
　③15:00～虹の国パラグァイ-移住者と共に-
　1952年に再開された当時の、移住者募集・宣伝用に制作された貴重映像3本を特別上映した。
●ミニ展示会
　JICAと海外移住に関するミニ展示会を開催した。

イベント5　　ミュージアム・ミッション2016

開催期間：7月16日（土）～8月31日（水）
当館参加者数：149名
概　　要：当館を含む横浜・みなとみらい地区周辺の6博物館が開催する「ミュージアム・ミッション 2016」に参加。当館からは全館賞賞品として国旗缶バッジを協賛した。

イベント6　　Pioneros Ver.2.0開通式



開催日：7月26日（火）14:00-14:30
概　　要：ホルヘ・クニガミ氏（ペルー日系人協会会長）・赤嶺貴子氏（ペルー日系人協会）、柳田利夫氏（学術委員）

同席のもとペルー日系人移民データベースPioneros Ver.2.0の開通式を開催した。これにより、ペルーへの日本人移民のうち、1899年から1923年にかけて契約移民として渡航した18,727人全員と、1923年から1941年にかけて自由移民として渡航した約11,650人の一部、2,348人分のデータが収録・公開されることとなった。日本人移民のデータを、氏名、出身都道府県、乗船した船の名前、ペルーへの到着日（不明のものについては神戸、横浜の出港日）そして配耕地名（不明は空白、自由移民については「自由移民」）などにより検索することができる。

イベント7　　「資料館でルーツを学ぼう　日系ペルー人の歴史と未来Ⅱ」①

開催日：7月30日（土）10:00-16:15
参加者：4名
概　　要：日本で生活している15歳～25歳のペルー人を対象にワークショップを開催した。海外移住資料館の見学や日系ペルー人の歴史に関する講義、自分のルーツ調査を行った。

イベント8　　「第三世代が考える　ヒロシマ「　　」継ぐ展」関連イベント

開催日：8月3日（水）～7日（日）
概　　要：みなとみらいギャラリーで開催された「第三世代が考える　ヒロシマ「　」継ぐ展」と連携し、スタンプラリーポイントとして参加した。

イベント9　　ブラジル物産フェア

開催期間：8月9日（火）～9月25日（日）
概　　要：増子利栄氏（ブラジル日系二世）や竹本欣哉氏（ブラジル移住者・学生移住連盟OB）と連携し、中南米地域の菓子、飲料、雑貨を販売した。

イベント10　　子どもアドベンチャー2016

開催日時：8月17日（水）～18日（木）
概　　要：①カルタで遊んでタイムスリップ！17日 10:00-16:00
移民カルタで遊びながら、移住について学ぶ。参加者には国旗缶バッジをプレゼントした。参加者：18名
②ミニ資料館を作ろう！18日　13:00-16:30
自分で資料を選び、解説文を作成し、資料写真を撮ってパネルにして展示発表する企画。参加者には「資料館ジュニア･スタッフ認定証」と「記念写真」をプレゼントした。
参加者：5名

イベント11　　JICA横浜　館内ツアー

開催日：8月23日(水)　13:00-14:00
参加者：8名
概　要：「ミュージアム・ミッション2016」関連イベントとして、JICA横浜の館内見学ツアーを開催した。また聖火トーチの特別撮影会を開催した。

イベント12　　「資料館でルーツを学ぼう　日系ペルー人の歴史と未来Ⅱ」②

開催日：8 月 27 日（土）10:00-16:30
参加者：2 名
概　要：日本で生活している15歳～25歳のペルー人を対象にワークショップを開催した。海外移住資料館の見学や日系ペルー人の歴史に関する講義、自分のルーツ調査を行った。

イベント13　　海外移住の紙芝居の読み聞かせ＆ワンポイント講座

開催日：8 月 28 日（日）13:00-14:00
参加者：28 名
概　要：波賀稔氏（絵本専門士）による、海外移住の紙芝居や絵本の読み聞かせおよび保護者を対象にした読み聞かせのワンポイントレッスンを行った。また、聖火トーチの特別撮影会も開催した。

イベント14　　パネルディスカッションとミニ・ワークショップ
「日本のペルー人Ⅲ　-日本社会で働く-」

開催日：9 月 4 日（日）14:00-16:00
参加者：29 名
概　要：「日本のペルー人」シリーズ3回目となるパネルディスカッション。すでに日本社会で活躍している日本育ちの「ペルー系二世」3人をパネリストに迎え、彼らの経験と、彼らに続く日本で生まれ育った「ペルー系二世」たちへの思いを語った。
　また、日本社会で働いているペルー系の若者たちや、日本での就労を考えている若者たちによるミニ・ワークショップも開催した。

イベント 15　　よこはま国際フェスタ 2016

開催日：10 月 8 日(土)～10 日(月)
参加者：1,525 名
概　要：同フェスタにブース出展した。ブース内には当館紹介パネルや企画展示ポスター、教育プログラムの資料や貸出教材を展示した。ブース前では日系社会で開催されている UNDOKAI の種目である「ビン釣りゲーム」を開催し、参加者にはゲーム景品として国旗缶バッジをプレゼントした。

イベント16　　黒田又蔵氏資料寄贈式

開催日：10 月 21 日（金）15:00-16:00
参加者：19 名
概　要：戦前のブラジル日系社会で指導的な立場にあった故黒田又蔵氏の親族より、黒田氏本人への感謝状や表彰状などの貴重な資料27点とアルバムが当館へ寄贈され、寄贈式を開催した。式終了後には、二宮正人教授（サンパウロ大学）による資料解説がおこなわれた。

イベント 17　　第 9 回　宝島ハロウィン・ラリー

開催日時：10 月 30 日（日）11:00-16:00
参加者数：1,392 名
概　　要：みなとみらい・新港地区で企画・開催された第9回宝島ハロウィン・ラリーに参加。常設展示室内にラリーポイントを設置し、仮装して来館した子どもたちを対象にお菓子を配布した。

イベント 18　　ヨコハマ・ワールド・ウォーク 2016

開催期間：11 月 3 日（木・祝）10:00-16:00
概　　要：横浜市体育協会が主催するイベントで、当館入口にチェックポイントを設置した。参加者のうち546名が来館した。

イベント19　　パネルディスカッションとミニ・ワークショップ「日本のペルー人Ⅳ　-社会に羽ばたく-」

開催日：11 月 5 日（土）14:00-16:40
参加者：38 名
概　要：「日本のペルー人」シリーズ4回目。これから日本社会へ出て行こうとしている「ペルー系二世」の若者によるパネルディスカッションとミニ・ワークショップを開催した。

イベント 20　　移動プラネタリウム　「世界の星空めぐり」

開催期間：11 月 26 日(土）～27 日(日)
概　　要：企画展示「鏡像の祖国-アルゼンチンの日系人たち-　田島さゆり写真展」との連動企画として、アルゼンチンをはじめとした世界各地の星空を投影する特別プログラムを上映した。

イベント21　「資料館でルーツを学ぼう　日系ペルー人の歴史と未来Ⅱ」③

開催日：12 月 28 日（水）10:00-16:30
参加者：6 名
概　要：日本で生活している15歳～25歳のペルー人を対象にワークショップを開催した。海外移住資料館の見学や日系ペルー人の歴史に関する講義、自分のルーツ調査を行った。

イベント22　「資料館でルーツを学ぼう　日系ペルー人の歴史と未来Ⅱ」④

開催日：3 月 25 日（土）10:00-16:30
参加者：3 名
概　要：日本で生活している15歳～25歳のペルー人を対象にワークショップを開催した。海外移住資料館の見学や日系ペルー人の歴史に関する講義、自分のルーツ調査を行った。

イベント 23　　横浜ベイサイドビューポイントラリー

開 催 日：3 月 18 日（土）～4 月 9 日（日）
主　　催：新港地区賑わい作り委員会
概　　要：新港地区賑わい作り委員会による企画で、近隣施設（5 か所）のスタンプを集めて応募し、抽選で賞品が当たるスタンプラリーイベント。当館はスタンプ設置施設として参加した。

公開講座１

「海外渡航者の始まり　川上音二郎とその時代」

開 催 日：5 月 15 日（日）14:00-15:30
講　　師：長谷川法世（漫画家）
受講者数：34 名
概　　要：福岡出身の漫画家長谷川法世氏による講演。同氏の作品「がんがらがん」は、福岡からアメリカに移民した家族の 3 世代にわたる物語を通じ、明治時代の移民のはじまりから第二次大戦を経て、戦後に至るまでの日系アメリカ人のたどった道のりを描いているが、その取材を通じて感じたアメリカ日系社会のこと、知り合った日系人の話などを紹介した。

公開講座２

「ブラジルにおけるマンガ事情　－日系人と日本文化の果たした役割－」

開 催 日：5 月 29 日（日）14:00-15:30
講　　師：佐藤フランシスコ紀行（ブラジル漫画協会）
受講者数：25 名
概　　要：マンガを通して見た、日系人と日本文化の役割についての講演。ブラジルにおけるマンガ事情について日本のマンガがブラジル日系社会で読まれていく中で、日系人によって日本のマンガスタイルがブラジルのマンガに影響を与えていった事例や、ブラジル漫画家協会の設立などを紹介した。

公開講座３

「日系人と第二次大戦-ハワイの日系アメリカ人を中心に-」

開 催 日：1 月 14 日（土）14:00-15:30
講　　師：すずきじゅんいち（映画監督）
受講者数：90 名
概　　要：第二次大戦時の日系アメリカ人について描いた長編ドキュメンタリー「東洋宮武が覗いた時代」「４４２日系部隊」「二つの祖国で」三部作を制作した、すずきじゅんいち監督による講演。日系アメリカ人をテーマとした作品を制作したきっかけや取材中に知り合った日系人との交流、故ダニエル・イノウエ上院議員への出演交渉の裏話、現地アメリカでの上映会の反応などを語った。また講演会終了後、これら三部作をまとめた中編映画「誰も知らない日系アメリカ人の歴史」（40 分）の上映を行

った。

公開講座４　「大泉町発多文化共生まち映画　サンゴーヨン☆サッカー」の上映
（「よこはま国際フォーラム 2017」内プログラム）

開　催　日：2 月 4 日（土）　13:10-15:00
パネリスト：宮地克徳（プロデューサー）
藤橋誠（映画監督）
平野パウロ（出演者）
受 講 者 数：41 名
概　　要：人口の15%以上が外国人、うち7割がブラジル人という群馬県大泉町を舞台とし、国境を超えた友情、家族愛を描いた映画「サンゴーヨン☆サッカー」を上映。上映会後、プロデューサー、監督、出演者によるミニトーク会を開催し、撮影秘話や大泉町の様子、多文化共生の現状等について語った。

2. 情報システム

1) 情報検索システム

(1) 情報検索システム運用

図書資料室（海外移住）で実施される各種レファレンスサービスと連携し、当資料館の収蔵する資料について情報を整備し、情報検索システムを通じて館内、館外へ検索サービスを提供した。2016 年度末時点登録数：28,495 件（うち図書類：20,274 件、標本類ほか：8,221 件）。
URL:http://search.jomm.jp/

(2) 登録データの整備

2016 年度は既に登録されている書誌情報の修正、不足情報の追加等を行った。また、図書の複本処理を行い、データを統合させた。登録情報の照合・確認・修正件数は 1,410 件。

2) 海外移住資料館 web ページ新規コンテンツ

(1) 移住資料所蔵機関情報

国内及び海外における博物館、図書館、研究機関その他団体等のうち、「日本人の海外移住の歴史」に関する資料を所蔵・公開している機関について、情報提供するコンテンツを製作。移住資料所蔵機関の所在地、所蔵資料の概要、過去の展示実績等の情報を集約し、多くの皆様に提供することを目的としている。引き続き、関係諸機関の皆様より情報提供等の協力をいただき、順次追加していく予定。
URL: http://www.jomm.jp/shozokikan/index.html

(2) JICA 横浜 海外移住資料館　研究紀要

当館で行われた学術研究の成果を広く社会に発信することを目的として、2006 年より刊行している「研究紀要」について、PDF 版を製作し、当館 Web ページにて公開した。
URL: http://www.jomm.jp/kiyo/index.html

3. 資料等情報整備

1)資料の受入・収集

海外移住に関連する図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等の方法で収集した。資料受入は 644 件。登録総件数は 42,348 件。

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	年度計
取得	102	60	29	12	203
購入	4	33	8	10	55
寄贈	50	44	53	53	200
移管	1	0	16	0	17
既存資料	8	0	75	86	169
寄託	0	0	0	0	0
受入合計	165	137	181	161	644

2)資料の整理

(1) 海外移住事業に関する所蔵資料の整備（移住申込書データベース）

移住申込書の物理的整理作業が2011年11月に終了したことを受け、2012年度より移住申込書のデータベース構築作業が開始された。データ入力、確認作業を実施し、データ（文字情報、画像）の不備、修正等があった場合には、その都度実物資料と照合し、適宜修正等を行った。なお、本作業は慶應義塾大学文学部 柳田研究室に協力いただいている。

(2)海外移住事業に関する所蔵資料の整備（旧海外移住センター所蔵資料）

旧海外移住センター所蔵資料のうち、業務ファイル等アーカイブ類について、資料群ごとに写真撮影を行いつつ、資料の概要について情報入力を行った。また、冊子体の報告書等、図書資料について、仮入力及び複本確認作業を実施した。

旧海外移住センター所蔵資料のうち、「移住者台帳」（約26,000件）、「スライド」（35㎜ポジ、約10,000点）、「プリント写真」（約10,000点）について、デジタル化（画像データ化、JPEG形式にて保存）を実施。ただし、「スライド」、「プリント写真」については、来歴のわかるもののみを対象としている。今後、利用に向けての整備を行う予定である。

(3)宮城県海外協会関係資料・秋田県海外協会関係資料

宮城県国際交流協会、秋田県国際交流協会より寄贈された資料（宮城県109件、秋田県106件）について、資料群ごとに記録写真の撮影および、資料概要の入力作業を行った。

(4)伊藤一男関連資料

伊藤一男（元読売新聞記者、『北米百年桜』著者。寄贈資料は北米日本人移住者関連）資料の概要入力作業を実施。2017年度以降も、引き続き、整理作業を進めていく予定である。

4. 教育普及活動

1)教育プログラムの概要

当館では、日系移民に関する資料の収集、保存、展示、研究活動のほか、設立趣旨にあるように移住者たちの足跡や役割について多くの人々に伝え、理解を深めてもらう役割を担っている。また、特に若い世代の人々に、多文化共生社会を生きる一員として、あるいは開発教育の視点からも、一人ひとりに移住者からのメッセージを受け止めてもらいたいとの思いから、開館当初より、教育普及活動に積極的に取り組んでいる。

現在、日本においても外国から多くの人々が移り住み、多文化社会が進展してきており「多文化共生」が教育の分野においても大きな課題になっている。そこで、日本人の海外移住の歴史と日系人の生活について展示を行っている当資料館では、そのような課題に応え、教育関係者を対象として、指導者向けの解説書である「学習活動の手引き」作成をはじめとし、教材開発やボランティアによる展示ガイド等、多様な教育プログラムを実施している。

今後､世界の移民人口はますます増加すると予想されている｡このような 21 世紀の世界の中で、グローバルな価値の実現をめざして行動できる地球市民としての資質に加え、多文化社会の中で異なる文化を受容、尊重し、共生へ向けて行動できる市民としての資質という両方の育成が求められている。当資料館の教育プログラムを「共生にむけて」社会参加ができる子どもたちの育成のために活用いただければと考えている。

表：海外移住資料館の学習教材

【学習活動の手引き】無料配布 この手引きには、移民について学ぶことの意義が記され、その意義に沿った、海外移住資料館の展示及び各種教材を活用したいくつかの授業構想が含まれている。学校の先生方はもとより、NGO/NPO 関係の方々の授業づくりやワークショップの際の参考として利用できる。	
【移民カルタ】貸出可 日本人の海外移住の歴史、移住者の生活や心情、日本に住む日系人の生活や思いなど、子どもたちに知って欲しい移民に関するさまざまな事柄を、遊びを通して楽しみながら学ぶことができる。	
【日本-ブラジル移民カルタ】貸出可 このカルタは、単に日系ブラジル人の歴史や文化を学ぶだけではなく、日系ブラジル人の継承日本語教育の学習教材としても活用できるよう、日本語とポルトガル語の解説が併記されるなど、様々な工夫が凝らされている。(制作：移民カルタ研究会)	
【移民スゴロク】貸出可 このスゴロクは、日本人のブラジル移住および移住一般に関して学ぶことを目的としている。クイズとしても遊べるようになっている。小学生高学年以上対象。	

【紙芝居】貸出可

絵や写真、そしてわかりやすい言葉で書かれた物語を通じ、移住者の歴史的経験や心情、日本に暮らす日系人の生活や思いを共感的に理解することができる。全４種類。

（上段左）海を渡った日本人
（上段右）カリナのブラジルとニッポン
（下段左）ハワイに渡った日系移民
（下段右）弁当からミックスプレートへ

【いみんトランク】貸出可

いみんトランクは、国際的な人の移動から多文化共生を学ぶことのできる教材として、また、日本と世界をつなげていく教材として、移民に関する授業や事前学習のサポートを目的に貸し出ししている。移住者の歴史や経験、貢献などにかかわるハンズオン教材として、以下の教材を用意している。

・野菜山車（画像・トピックシート有）
・ハワイ移民労働着
・弁当缶
・笠戸丸画像
・パールハーバー当日の新聞
・太平洋戦争終戦を伝える新聞
・さとうきび
・ミックスプレート（トピックシート有）
・移住斡旋ポスター
・ジュート
・コショウ
・綿花
・コーヒー
・アマゾンで栽培されている野菜
・アマゾンや日系人の貢献に関する情報（資料）
・アマゾンを守るエコ農法（朝日新聞記事）
・アマゾン移住に関する概要・年表（資料）
・サクラ醤油
・ハワイ盆踊り手ぬぐい
・ロコモコ（トピックシート有）
・スパムセット
・Ｔシャツ（日系コミュニティのイベント等で使用されたもの）
・ブラジルの和菓子（まんじゅう、あんぱん、詰め合わせ、もち、金澤製菓画像。トピックシート有）
・ブラジル南米神宮のお守り（南米神宮画像、トピックシート有）
・外国人登録者数推移（資料）
・世界地図
・ハワイのビッグファミリー（画像）

【ハワイ移民労働着：ハナハナウェア】

【ミックスプレート、弁当缶、さとうきび】

【パールハーバー当日の新聞】

これらの教材を実際見て、手に取ることで、日本人移民の歴史と経験について何かを感じ取り、学習効果が高まることを期待している。
なお、トピックシートに関してはホームページ上からダウンロード出来るよう対応されている。

【ブラジルの和菓子】

【定点解説キット】
日本からの移住者が運んだトランクを再現したもの、当時の移住先国での暮らしを紹介するものなど、10 のキットがある。直接体験を通して展示をより実感して理解することが可能となる。本キットは、常設展示案内時に使用している。

- サトウキビ畑の生活・仕事（麦わら帽子、手ぬぐい地の帽子、軍手、写真パネル等）
- ミックスプレート（写真パネル）
- スーツケース（写真カード入小箱、トランク等）
- 移住物語（写真アルバム、複製パスポート）
- 花と製品あてゲーム
- 農作業具（写真パネル）
- 日系商店（萬屋の品揃えアルバム、エプロン等）
- 日系人の食卓（写真アルバム）
- イグアス（空撮写真、アルバム等）
- 宝さがし（中高生向写真カード、ゾーンマップ）

【映像教材】貸出可
日本人の海外移住の歴史に関する映像教材。以下 6 種類は貸出も行っている。
①DVD「子供たちの百年 ブラジルに渡った少年少女は、今！」（制作：2008 年、53 分）
②DVD「アマゾンに挑んだ草創の日本人」（制作：2009 年、85 分）
③DVD「JICA 横浜　海外移住資料館」（制作：2009 年、11 分）
④DVD「夢と希望を運んだ船　～移住船での暮らし～」（制作：2009 年、5 分）
⑤DVD「100 年の鼓動　―ハワイに渡った福島太鼓―」（制作：2011 年、57 分）
⑥DVD「誰も知らない日系アメリカ人の歴史」※（制作：2013 年、40 分）
※本映像教材は『二つの祖国で・日系陸軍情報部』などで知られるすずきじゅんいち監督より寄贈を受けた。

【パスポート】
当館概要、海外移住の歴史、ワークシート、来館記念スタンプ用紙などを一つの冊子にまとめ、作成した。学生はもとより一般来館者へも配布し、展示のねらいに即した見学を支援するとともに、見学後、見学した内容を簡単に振り返る事が出来るよう工夫されている。

【パワーポイント教材】
海外移住の歴史、移住者の貢献、経験、さらに日本における在日外国人の状況にも思いを寄せられる内容となっている。対象は小学生以上。1 時間以上の見学時間を予定している学校関係者を中心に、要望に応じて活用している。

2)教育プログラムの実施

教育機関の団体入館児童・生徒、学生を主な対象として、ガイダンス（概要説明）、パスポートや学習教材を使用したプログラム、質問事項への対応等を実施した。本年度の教育プログラム実施件数は 236 件、総受講者数は 8,296 名となった。四半期毎の実施教育機関は以下のとおり。

【教育プログラム実績】

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	年度計
件数	76	49	65	46	236
総受講者数	3,425	1,150	2,049	1,672	8,296

※件数は、実際にプログラムを実施した数。同じ教育機関が複数回受講したケースも有り。

【教育プログラム受講教育機関】

(1)第 1 四半期：

	団体名	団体数	受講人数
小学校	常総市立大生小学校、深谷小学校	2	137
中学校	八戸市立南浜中学校、歌志内市立歌志内中学校、安平町立追分中学校、伊勢市立港中学校、氷見市立西部中学校、射水市立射北中学校、山元町立山下中学校、仙台市立向陽台中学校、山形市立第五中学校、横須賀市立浦賀中学校、座間市立相模中学校、四日市市立西笹川中学校、横須賀市立追浜中学校、小樽市立菁園中学校、平塚市立中原中学校、志学館中等部、横浜市立潮田中学校、豊橋市立本郷中学校、知多市立旭南中学校、横浜女学院中学校、平塚市立浜岳中学校、東京都立明星中学校、名古屋市立東港中学校、平塚市立金目中学校、伊賀市立緑ヶ丘中学校、平塚市立春日野中学校、横浜市立仲尾台中学校、横浜吉田中学校、藤沢市立第一中学校	29	1,570
高等学校	神奈川県立大和西高等学校、関東学院高等学校、神奈川県立三浦臨海高等学校、麹町学園女子高等学校、神奈川県立足柄高等学校、埼玉県立川口工業高等学校、横浜商業高等学校、市原中央高等学校、徳島県立豊岡西高等学校、岡山県立岡山城東高等学校、アレセイア湘南高等学校	11	997
大学・専門学校	学芸大学、早稲田大学、東海大学教養学部学科、お茶の水女子大学、恵泉女学園大学、松蔭大学、日本大学国際関係学部国際総合政策学部、駿河台大学、東京都市大学環境学部、明治大学文学部、多摩大学グローバルスタディーズ学部、神奈川大学、神奈川大学、北里大学看護学部、東海大学	16	279

その他	スザノ日伯学園、インスチツート・エドカショナル・ジェンテ・ミウーダ、ひらがなネット株式会社、日系研修オリエンテーション、いっく会、日系社会ボランティア派遣前訓練参加者、保土ヶ谷区民会議、青年海外協力隊説明会参加者、T サークル交流会、日系研修オリエンテーション、南太田ふれあいサロン、池辺地区社会福祉協議会、アランクワハラツアー、日系研修オリエンテーション、みなとみらいかもめSCHOOL、横浜市子ども会連絡協議会、世田谷ケアセンターwith、福島県国際課	18	442
合計		76	3,425

(2)第 2 四半期：

	団体名	団体数	受講人数
小学校	横浜市立斉藤分小学校、八王子市立椚田小学校、横浜山手中華学校、横浜市立飯田北いちょう小学校、横浜市立つつじが丘小学校	5	262
中学校	藤沢市立羽鳥中学校、横浜市立南高等学校付属中学校、練馬区立開進第三中学校、文教大学付属中学校、秋田県立大舘国際情報学院中学校、関東学院六浦中学校	6	191
高等学校	川崎市立橘高等学校、静岡県立吉原高等学校、登別高等学校、横浜隼人高等学校、清泉女学院高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校	8	225
大学･専門学校	東海大学教養学部人間環境学科、文教大学、横浜市立大学大学院、大妻女子大学 文学部コミュニケーション文化学科、立教大学社会学部、沖縄国際大学社会文化学科、中央大学、湘南平塚看護専門学校、第４回横浜国際保健サマーワークショップ（横浜市立大学)、共愛学園前橋国際大学	10	153
特別支援	保土ヶ谷養護学校横浜平沼分教室	2	24
その他	YOKE インターン生､神奈川県立地球市民かながわプラザ、前里町ふれあいサロン、アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター、日本ワンダーフォーゲル会、第 6 回ふれあい日本の旅（ブラジル)、横浜市役所財政局、内藤アカデミー、ペルーワークショップ、神奈川県教育委員会 5 年次社会体験研修、厚生労働省インターンシップ生、学童センターみらい、KAKEHASHI 一般招へいプログラム日系人青少年（アメリカ)、Friend Ship Force Peru、横浜ぶらり会、日系研修オリエンテーション	18	295
合計		49	1,150

(3)第 3 四半期：

	団体名	団体数	受講人数
小学校	さいたま市立徳力小学校、横浜市立永田台小学校、横浜市立下永谷小学校、横浜市立日下小学校、横浜市立丸山台小学校、横浜市立倉田小学校、横浜市立川上小学校	8	547
中学校	神奈川大学附属中学校、八王子市立石川中学校、横浜市立浜中学校、中野区立第五中学校	4	50
高等学校	アレセイア湘南高等学校、岡山市立岡山後楽館高等学校、神奈川県立上溝高等学校、神奈川県立鶴見総合高等学校、香川県立香川中央高等学校、クラーク記念国際高等学校、神奈川県立神奈川総合高等学校、星槎国際高等学校 立川学習センター、神奈川県立相模原総合高等学校、神奈川県立横浜緑園総合高等学校、沼津中央高等学校、神奈川県立川崎高等学校、静岡県立伊東高等学校城ケ崎分校	13	628
大学・専門学校	北里大学医療衛生学部、共立女子大学、福岡女子大学、恵泉女学園大学、慶應義塾大学、多摩大学グローバルスタディーズ学部	6	105
その他	神奈川県警察学校、秋募集 体験談＆説明会参加者、日系研修オリエンテーション、横浜市中区役所、上高会（都立上野高校 PTA)、JA セレサ川崎みなみ支店、中区タウンピクニック（中区役所地域振興課)、横浜市旭区役所、日系社会ボランティア研修、中区役所人権グループ、ボーイスカウト横浜第 43 団カブ隊、外務省中南米局南米課（日系人招へい)、市町人権教育連絡協議会、千葉県富津市立天羽中学校 PTA 研修視察旅行、大泉地区少年補導員連絡会、横浜市立戸塚高等学校定時制（PTA)、浜銀久里浜懇話会、横浜市市民局、日本セカンドライフ協会、日本監督士協会、食文化研究会、サンフレア、座間市生涯学習グループあすなろ大学、KAKEHASHI 一般招へいプログラム日系人青少年（アメリカ)、JICA 関西センター職員、ペルーワークショップ	34	719
合計		65	2,049

(4)第 4 四半期：

	団体名	団体数	受講人数
小学校	横浜市立潮田小学校	1	34
中学校	横浜市立新田中学校、藤沢市立湘南台中学校、世田谷区立船橋希望中学校、世田谷区立深沢中学校	5	116
高等学校	横須賀学院高等学校、福岡県立小倉南高等学校、長崎県立壱岐高等学校、星槎国際高校横浜鴨居学習センター、栄光学園中学高等学校、東	6	606

	京都松が谷高等学校		
大学･専門学校	中央大学法学部、川崎医療福祉大学医療技術部健康体育学科、千葉大学国際学部、独協大学、明治大学商学部、立正大学、東洋英和女学院大学	7	105
特別支援	船橋市立旭中学校特別支援学級、神奈川県立保土ヶ谷養護学校舞岡分教室、神奈川県立湘南養護学校、筑波大学附属視覚特別支援学校	4	97
その他	ラ・ウニオン校（ペルー）、神奈川県警察学校、横浜市経済局、日系研修オリエンテーション、日系社会次世代育成研修（中学生）、日系社会次世代育成研修（高校生）、中南米日系人招へいプログラム、福島県国際課、外国人就労支援研修、あさひ色鉛筆研究会、鹿嶋自治会まほろば会、国際交流基金日本語国際センター、ガールスカウト横浜市連絡協議会、NPO シニアボランティア経験を活かす会、KAKEHASHI 一般招へいプログラム日系人青少年（アメリカ）、トモダチ・カケハシ・イノウエ第 1 陣、バンクーバー朝日軍選手、バンクーバー朝日軍親族、日系スカラーシップ留学生、JICA 駒ヶ根信州国際塾グローバル・バスツアー、バンクーバー朝日軍対戦チーム、トモダチ・カケハシ・イノウエ第 2 陣、ペルーワークショップ	23	714
合計		46	1,672

【プログラム例　大学生向け（2 時間)】
① 日本人の海外移住史概要
② 在日ブラジル人・デカセギ・日系ブラジル人に関する概要説明
③ 日本人の海外移住の歴史と海外日系コミュニティに関する講義

【プログラム例　高校生向け（2 時間)】
①日本人の海外移住について解説
②ハワイと日系人に関する概要説明
③移住の歴史と在日日系人について講義
④パスポートを活用した資料館見学

【プログラム例　中学生向け（1.5 時間)】
①日本人の海外移住、横浜と海外移住との関わりについて解説
②パスポートを活用した資料館見学

【プログラム例　小学生向け（30 分～1 時間)】
① カルタで宝探し(カルタにある資料を探し解説を受ける)
② パスポートを活用した資料館見学

3)ボランティア管理運営

(1)ボランティア活動の概要

当館では、以下の業務をボランティアが実施している。

① 展示案内ボランティア活動

常設展示室、企画展示室内での展示案内を中心に活動している。2016 年度末時点で、登録者数は 22 名。なお、展示案内ボランティアの配置状況は以下のとおりとなっている。

・第 1 四半期：245 人配置（77 開館日、平均 3.2 人配置）
・第 2 四半期：242 人配置（79 開館日、平均 3.1 人配置）
・第 3 四半期：224 人配置（75 開館日、平均 2.9 人配置）
・第 4 四半期：245 人配置（75 開館日、平均 3.2 人配置）

② 資料整理ボランティア活動

2016 年度末時点の登録者数は 8 名。

(2)ボランティア研修会等の実施

ボランティアのスキルアップを目的とした研修を実施。また、連絡会議を開催し、情報の共有および今後の活動についての意見交換を行った。2016 年度はそれぞれ以下のとおり実施した。

① ボランティア研修会

・日本新聞博物館見学会
日時：10 月 14 日（金）
参加者：12 名

・公益財団法人　海外日系人協会　概要
日時：12 月 22 日（木）
参加者：10 名

・株式会社　東急コミュニティー　概要
日時：3 月 3 日（金）
参加者：16 名

② ボランティア連絡会議

・第 1 回　5 月 9 日（月）開催　参加者：14 名
・第 2 回　7 月 15 日（金）開催　参加者：18 名
・第 3 回　10 月 14 日（金）開催　参加者：12 名
・第 4 回　12 月 22 日（木）開催　参加者：10 名
・第 5 回　3 月 3 日（金）開催　参加者：16 名

5. 広報活動

1) 広報紙「海外移住資料館だより」発行

当館広報紙として「海外移住資料館だより」を、2016 年度は 4 回発行。企画展示の内容をテーマに、展示内容及び収蔵資料等を紹介した。発行部数 7,000 部。

主な配布先は、都道府県国際交流課及び国際課、教育委員会や、各国大使館、図書館、博物館、神奈川県立高校、横浜及び川崎市内小中学校、国際教育研究協議会加盟校、外国人集住都市の国際交流協会など、約 2,000 件。その他、常設展示スペース等で随時配布している。

No.	発行	コンテンツ
42	2016 年 7 月	特集　二つのオリンピック　―スポーツがつないだ日系社会―/海外の邦字新聞より
43	2016 年 10 月	特集　鏡像の祖国　―アルゼンチンの日系人たち―　田島さゆり写真展／TOPICS
44	2016 年 12 月	特集　ハワイの日系人のまつり　―お正月とボンダンス―／TOPICS
45	2017 年 3 月	特集　広島から世界へ　―移住の歴史と日系人の暮らし―／インタビュー前原弘道さん/TOPICS

No.42

No.43

No.44

No.45

2)一般広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当館の入館者数増を目指し、地域で行われるイベント等への参加、広報媒体への掲載など、以下のとおり実施した。

(1)外部媒体への掲載

神奈川新聞／東京新聞／読売新聞／朝日新聞／毎日新聞／産経新聞／湘南よみうり／NHK／日本テレビ／JCOM／アルテルナティーバ／JFN／MEGA BRASIL／横浜市・神奈川新聞 雑誌「横濱」／横浜 STORY／サンケイリビング横浜／東京散策乗物ガイド／横浜市中区版広報誌／横浜市暮らしのガイド／Mirea／はまスポ／アートナビ／移動教室年鑑／歩く地図　鎌倉・横浜散歩／はまっぷワイド／横浜ビジターズガイド／横浜ベイシティ交通マップ／横浜市観光情報公式サイト／ＹＭＭ21 公式サイトなど

3)開催広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当館常設展示及び企画展示、公開講座、その他イベントに関する広報活動を積極的に行うため、広報素材作成と頒布、表示類の作成、プレスリリースの配信等、適宜開催広報を行った（NHK、TVK、共同通信社、時事通信社、神奈川新聞、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、東京新聞、日本経済新聞、産経新聞、県政記者クラブ、横浜市政記者室、ニッケイ新聞、サンパウロ新聞、JCOM、ラジオ日本、フリーペーパー各紙、各種イベント広報 web サイト等）。また近隣博物館、商業施設、宿泊施設等へ、広報物の掲出・設置等依頼した。

4)海外移住資料館「友の会」

海外移住資料館「友の会」は、「日本の海外移住の歴史」や「日系人」、「多文化理解・共生」などのテーマに興味・関心のある方々へ関連情報を発信するとともに、当資料館利用者数の増加を図ることを目的に設立された。

活動内容は当館で実施する事業やイベントの案内、海外移住の歴史や日系人、多文化理解といったキーワードに関連する情報の発信等となっている。

情報発信のツールとして、メールマガジンを利用し、2016 年度は号外も含め計 14 回配信した。メールマガジンは月 1 回の配信を基本とし、配信している。

会員登録には、メールマガジンの配信登録を利用し、2016 年度末時点で、友の会会員は DM 会員：285 名、メール会員：879 名となった。

6. 運営委員会及び学術委員会

1)運営委員会

海外移住資料館の運営方針、事業計画、学術事項等運営に関する重要事項について専門的な見地から議論・検討することを目的とし、運営委員会を設置している。

2)学術委員会

海外移住資料館における学術研究に係る企画・実施協議・評価・交流を行うことを目的として、2006 年度に海外移住資料館学術委員会を設置した。同委員会は、学識経験者、JICA 横浜所長（海外移住資料館長）により構成される。

【2016 年度 学術委員会開催】
- 第 1 回学術委員会（4 月 15 日）
- 第 2 回学術委員会（8 月 1 日）
- 第 3 回学術委員会（1 月 10 日）

【2016 年度 学術委員】

委員長	飯野正子	津田塾大学名誉教授　前学長・前理事長
委員	島田法子	日本女子大学名誉教授
	中牧弘允	吹田市立博物館館長、国立民族学博物館名誉教授
	森茂岳雄	中央大学教授
	柳田利夫	慶応義塾大学教授
	朝熊由美子	JICA 横浜所長（海外移住資料館長）

3)学術研究プロジェクト

学術委員会において企画・検討された以下の 4 プロジェクトが、2015 年度より 3 年間実施されることとなる。学術研究プロジェクトの研究概要は以下のとおり。

(1) 「第二次世界大戦直後に日本に『送還』された日系カナダ人（約 4000 人）のその後」

【概要】1942 年、カナダ政府は、カナダ西海岸に居住していた 21,000 人の日系カナダ人を敵性外国人として内陸部に強制移動した。それらの日系人は、戦後、カナダ政府の通達により、カナダに留まる者は「ロッキー山脈の東」へ移動、さもなくば日本に「送還」という二者択一的な選択を迫られた。ロッキー山脈の東への移動を拒否した日系人は、カナダ生まれの日系人であっても日本に送られることになり、これは「国外追放」であると言われ、大きな混乱を生んだ。結果的には、約 4,000 人の日系人が日本に送られたとされている。彼らが戦争直後の日本でどのように受け入れられたか、その後、定着したか、あるいはカナダへ戻ったか、の全容は、これまで明らかにされていない。ここに提案する調査・研究により、日系カナダ人の歴史の重要な一幕が明確に示されると同時に、彼らが日本との絆をどのように意識していたか、そして彼らを介しての日本とカナダの関係がどのようであったか、などが、明らかになると期待される。

【プロジェクトリーダー】飯野正子（津田塾大学名誉教授）

(2)海外移住 150 年を振り返る:移動する人の視点からみる国際関係

【概要】本研究は日本人海外移住 150 年の歴史をグローバルヒストリーの文脈に位置づけつつ、移動する人の視点から複雑で多様な移動の状況について再検討を行うものである。本年度は「若松コロニー」および西部・東部の初期日本人コミュニティへの包括的な調査を継続して行う。その際、昨年度のカリフォルニア州での「若松コロニー」跡地への調査を踏まえ、会津若松でも調査を行い、日本側の史料から見えるものは何か検討していく。また、海域を通じての日本人の国際移動を、漁業、船員、渡航時のプロセスなどの観点から再検討を試みる。さらには、国際関係と個人史について、日系人がもたらした日本のモダニティへの影響について研究を展開していく。

【プロジェクトリーダー】菅　美弥　（東京学芸大学准教授）

(3) 移住資料ネットワーク化プロジェクトの充実と拡張（第二期）

【概要】2012～2014 年度にかけて実施された学術研究プロジェクト「移住資料ネットワーク化プロジェクトの充実と拡張」で目ざした三つの柱：移住者検索システム、デジタルミュージアム、邦字新聞デジタルアーカイブについては、それぞれ PIONEROS（日本語版・西語版）、ペルー日本人移住資料館のデジタル化と拡張、「ペルー新報」のデジタル化と館内閲覧システムによる公開によってほぼ所期の課題を果たすことができた。これに引き続き、2015～2017 年度にかけて、第二期として、既に完成・稼働しているネットワーク上の基本的なプラットフォームを活用することで、調査・研究活動を継続することとしたい。

【プロジェクトリーダー】柳田利夫（慶應義塾大学教授）

(4) 在日ラテン系二世の多角的分析

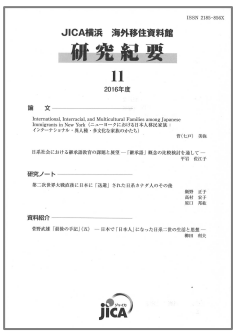
【概要】南米日系人の日本へのデカセギ現象がブームとなってからすでに四半世紀が経過した。この間、デカセギ現象をめぐるさまざまな研究成果が蓄積されてきたが、その多くが「移民研究」あるいは「日系人研究」の延長線上で、教育・言語・文化といった側面に生じている具体的な「問題」とその「解決」、そして多文化共生といった方向性から彼ら／彼女らをとらえてきた。しかし、現状を見渡すと、そういった範疇ではもはやとらえきれないかたちで、日本、南米、もしくは両地をまたにかけて、あるいは、越境という概念そのものさえも超えてゆきつつ成長している出稼ぎ二世の世代の存在が、次第に浮かび上がってきている。

本プロジェクトでは、日本デカセギ25年の節目にあたり、これまでの研究成果を受け止めつつ、出稼ぎ二世世代の成長と、少子高齢化時代を迎えた日本という事実を背景に、出稼ぎ25年を経て生起しつつある現象の意味と、これまでのように、一国単位の接続可能性により移民を議論することの危うさを捉え直し、越境を超える人々の生き方を通じて、未来に繋がる共生への新しい視点を提示することを目標とする。

【プロジェクトリーダー】赤木妙子（目白大学教授）

4)研究紀要の発行

当資料館で行われた学術研究の成果として、『研究紀要 第 11 号』を発行した（2017 年 3 月発行）。論文題目等は以下のとおり。



【論文】

International, Interracial, and Multicultural Families among Japanese Immigrants in New York

ニューヨークにおける日本人移民家族：インターナショナル・異人種・

多文化な家族のかたち
東京学芸大学准教授　菅（七戸）美弥

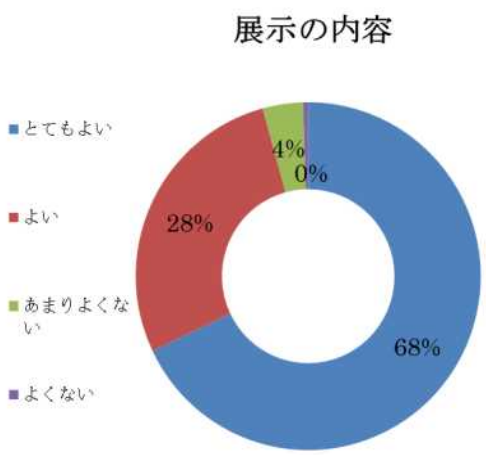
日系社会における継承語教育の課題と展望
ー「継承語」概念の比較検討を通してー
翻訳家/元中央大学大学院　平岩佐江子

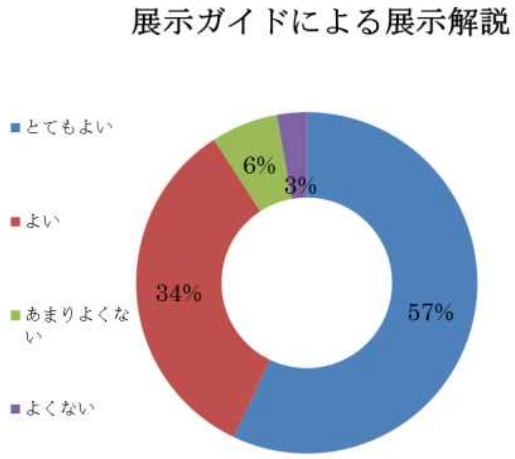
【研究ノート】
第二次世界大戦直後に日本に「送還」された日系カナダ人のその後
津田塾大学名誉教授/海外移住資料館学術委員会委員長　飯野正子
東洋学園大学元教授　高村宏子
外交史料館編纂委員　原口邦紘

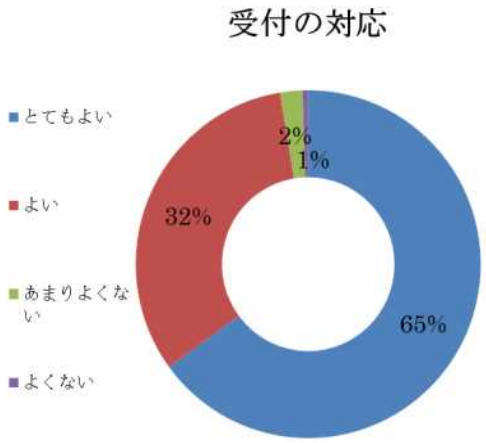
【資料紹介】
菅野武雄「最後の手記」（五）
―日本で「日本人」になった日系二世の生活と思想―
慶應義塾大学教授　柳田利夫

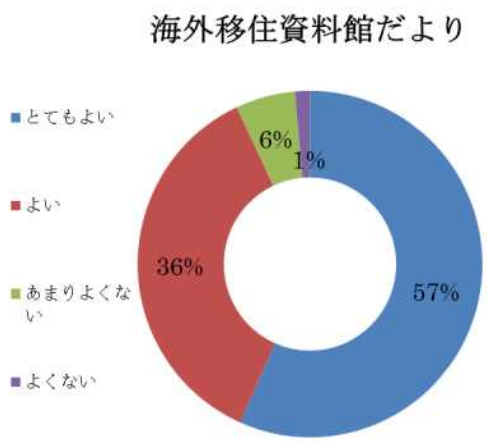
7. アンケート調査

当館の常設展示入館者を対象に利用者アンケートを実施。設問は「展示内容について」「展示ガイドによる展示解説について」「受付での対応について」「海外移住資料館だよりの記事内容について」等を設定した。回答総数は 217 件。4 段階で評価いただいたが、すべての設問において、「とても良い」「良い」をあわせた回答が全体の 9 割以上を占め、大変良好な回答を得た。









8. 各種実績等

1) 海外移住資料館関連グッズ販売の実績

当館では、所蔵資料を活用し、絵葉書（17 種）、ストラップ、国旗缶バッジ（15 種）の制作・販売を行っている。販売実績については以下のとおり。

単位：枚、個

	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
絵ﾊｶﾞｷ（17 種）＊	342	701	665	566	468
ｽﾄﾗｯﾌﾟ（ｵﾘｼﾞﾅﾙ・十二支）	457	154	195	173	287
移住船模型	4	6	9	4	0
国旗缶バッジ	589	723	713	650	686

*2012 年 6 月までは 10 種での販売　　*移住船模型は 2015 年 9 月にて販売終了

2)その他

(1)　秋篠宮眞子内親王殿下御視察

10 月にパラグアイご訪問を予定されておられた秋篠宮眞子内親王殿下が 7 月 8 日にご来館。当館学術委員中牧弘允氏(吹田市立博物館・館長)の案内のもと、常設展示をご視察された。

(2)　秋篠宮同妃両殿下　「二つのオリンピック展」パネル御見学

10 月 24 日に東京で開催された第 57 回海外日系人大会において、当館で 2016 年 7 月 16 日から 9 月 25 日に開催した企画展示「二つのオリンピックースポーツがつないだ日系社会ー」のパネルを展示し、歓迎交流会にご臨席された秋篠宮同妃両殿下もご見学された。

(3)　他館への資料貸出

当館所蔵資料の貸出実績は以下のとおり。

日付	貸出先	貸出内容	利用目的
4/1	昭和館	画像 68 点	常設展示利用
4/1	神戸市市長室	図書 4 点、標本 36 点	展示・イベント利用
4/30	テレビ東京報道局報道番組センター	画像 4 点	放送利用
5/4	テレビ東京報道局報道番組センター	画像 4 点	放送利用
6/1	㈱テレビジョンフィールド	映像 3 点	放送利用
6/6	プレジデント社	画像 5 点	印刷物掲載
6/7	キッコーマン㈱	画像 1 点	WEB 掲載
6/20	広沢編集事務所	画像 6 点	印刷物掲載
6/23	テレビマンユニオン	画像 3 点	放送利用
6/27	汐文社	画像 3 点	印刷物掲載
6/30	大阪府海外移住家族会	映像 3 点	展示・イベント利用
7/5	テレビ朝日映像㈱	画像 10 点	放送利用
7/13	都市出版㈱	画像 4 点	印刷物掲載
7/19	読売新聞東京本社	画像 1 点	印刷物掲載

8/6	那覇市立金城中学校	画像 2 点	その他（学校課題）
8/16	山口県ブラジル親善協会	画像 1 点	展示・イベント利用
8/27	㈱ジャンプコーポレーション	映像 2 点	放送利用
9/5	南山大学ラテンアメリカ研究センター	画像 1 点	印刷物・WEB 掲載利用
9/20	㈱日テレ　アックスオン	図書 1 点	放送利用
9/23	㈱日テレ　アックスオン	画像 2 点	放送利用
10/13	遊川　友美子	画像 48 点	閲覧・複製利用
11/12	NHK 文化・福祉番組部	図書 1 点	放送利用
11/21	㈱ジッピープロダクション	画像 1 点	放送利用
12/21	㈱ジッピ―プロダクション	映像 2 点	放送利用
1/13	日本大学生物資源科学部	パネル 10 点	展示・イベント利用
1/27	(公財)せたがや文化財団　生活工房	映像 4 点	メディア等収録
2/1	㈱テレビ和歌山放送本部制作部	画像 2 点、映像 4 点	WEB 掲載
2/14	㈱TVBOX	画像 5 点	放送利用
3/21	生活資料館・ハワイ移民資料館仁保島村	画像 9 点	印刷物掲載
3/24	大阪商業大学	画像 1 点	閲覧利用

4)各種実績

2016年度業務実績一覧

2016.4～2017.3

常設展示スペース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入館者数	3,341	6,179	4,177	2,944	5,264	4,150	6,963	4,906	3,919	3,575	3,350	4,155	52,923
（前年同比）	91%	120%	142%	113%	111%	113%	135%	124%	159%	141%	129%	110%	122%
一般	2642	4529	2762	2637	4912	3798	6411	4272	3366	3343	2836	3734	45,242
学校関係	699	1650	1415	307	352	352	552	634	553	232	514	421	7,681
15歳未満	448	1481	1103	492	875	671	1084	761	526	504	500	437	8,882
15歳以上	2893	4698	3074	2452	4389	3479	5879	4145	3393	3071	2850	3718	44,041
個人	2424	4369	2391	2345	4820	3673	6103	3800	3205	3178	2609	3282	42,199
団体	917	1810	1786	599	444	477	860	1106	714	397	741	873	10,724

※開館からの累計：　476,354

教育プログラム実施	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
実施件数	17	23	36	18	22	9	18	29	18	15	14	17	236
実施対象人数	699	1,454	1,272	456	325	369	701	865	483	358	532	782	8,296

照会対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
対応件数	38	23	36	23	36	33	24	32	38	25	31	19	358
JICA	1	0	3	0	1	1	0	1	1	1	0	0	9
教育機関	4	0	2	3	4	7	3	3	1	0	3	3	33
国内団体	2	2	3	0	2	0	0	1	1	1	2	1	15
個人	27	16	23	16	25	21	18	24	29	21	24	13	257
自治体	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	6
制作会社・マスコミ	3	5	4	3	3	3	3	2	5	1	2	2	36
国外団体	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2

図書資料室（海外移住）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入室者数	349	263	282	205	221	229	188	255	232	310	218	317	3,069
（前年同比）	153%	108%	111%	85%	90%	113%	77%	97%	90%	105%	112%	114%	104%
一般	82	61	96	83	93	70	49	96	113	90	81	104	1,018
マスコミ等	15	5	6	8	14	13	15	14	10	10	14	23	147
JICA関係（業務）	124	96	139	105	111	137	98	119	101	140	112	115	1,397
JICA関係（研修）	128	101	41	9	3	9	26	26	8	70	11	75	507

資料受入件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
資料受入件数	45	60	60	60	45	32	56	44	81	33	25	103	644
（うち取得）	22	44	36	21	12	27	9	17	3	3	2	7	203
（うち購入）	0	1	3	15	17	1	7	1	0	6	3	1	55
（うち寄贈）	23	13	14	24	16	4	27	21	5	24	19	10	200
（うち移管）	0	1	0	0	0	0	13	3	0	0	0	0	17
（うち既存資料）	0	1	7	0	0	0	0	2	73	0	1	85	169
（うち寄託）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所蔵登録総件数	41,749	41,809	41,869	41,929	41,974	42,006	42,062	42,106	42,187	42,220	42,245	42,348	

webページアクセス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits（訪問者数）	12,830	15,231	17,465	16,547	17,814	15,593	15,978	17,617	17,978	17,781	17,661	18,989	201,484
（前年同比）	84%	97%	99%	86%	94%	98%	94%	109%	116%	110%	130%	178%	101%
Pages（利用数）	50,032	45,771	49,066	49,445	52,251	45,519	44,355	46,686	47,834	45,174	44,160	51,185	571,478
Files（情報提供数）	166,523	187,645	205,215	187,345	206,740	189,273	194,294	192,858	190,675	202,979	187,938	193,717	2,305,202

情報検索アクセス数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits（訪問者数）	719	738	734	771	792	788	855	1,209	954	816	727	1,072	10,175
（前年同比）	64%	76%	50%	0.38	0.39	40%	42%	63%	73%	105%	96%	178%	62%
検索件数	989	1,360	1,869	1,284	2,043	2,138	1,399	302	2,163	1,521	1,734	924	17,726
（前年同比）	83%	132%	233%	150%	226%	200%	165%	30%	187%	167%	255%	84%	153%

JICA 横浜 海外移住資料館 館報
2016 年度

発　　行：独立行政法人国際協力機構横浜国際センター
　　海外移住資料館
発行年月：2017 年 7 月

問い合せ先
JICA 横浜　海外移住資料館
〒231-0001　神奈川県横浜市中区新港 2-3-1
Tel　045-663-3257　／　Fax　045-211-1781
Web：http://www.jomm.jp　　E-mail：info@jomm.jp

ジャイカ
JICA